

京都市告示第 458 号

京都市名誉市民表彰条例の規定に基づき、平成 21 年 2 月 14 日付けで次の者を京都市名誉市民として表彰しました。

平成 21 年 2 月 16 日

京都市長 門 川 大 作

住 所 京都市左京区岩倉大鷲町 7 番地の 1 1

氏 名 益 川 敏 英

生年月日 昭和 15 年 2 月 7 日生

1 略歴

昭和 37 年 3 月 名古屋大学理学部卒業

昭和 42 年 4 月から
名古屋大学理学部文部技官

昭和 42 年 7 月まで

昭和 42 年 7 月から
名古屋大学理学部助手

昭和 45 年 4 月まで

昭和 45 年 5 月から
京都大学理学部助手

昭和 51 年 3 月まで

昭和 51 年 4 月から
東京大学原子核研究所助教授

昭和 55 年 4 月まで

昭和 55 年 4 月から
京都大学基礎物理学研究所教授

平成 2 年 10 月まで

平成 2 年 11 月から
京都大学理学部教授

平成 7 年 3 月まで

平成 7 年 4 月から
京都大学大学院理学研究科教授

平成 8 年 12 月まで

平成9年1月から 平成15年3月まで	京都大学基礎物理学研究所教授
平成9年4月から 平成15年3月まで	京都大学基礎物理学研究所所長
平成9年7月から 平成12年7月まで	日本学術会議会員
平成15年4月	京都大学名誉教授
平成15年4月から 現 在まで	京都産業大学理学部教授
平成16年10月から 平成20年9月まで	京都産業大学研究機構長
平成19年10月から 現 在まで	名古屋大学特任教授

2 受賞

昭和54年12月	仁科記念賞
昭和60年4月	J. J. Sakurai賞
昭和60年6月	日本学士院賞
平成7年1月	朝日賞
平成7年5月	中日文化賞
平成13年11月	文化功労者として顕彰される
平成19年7月	高エネルギー・素粒子物理学賞
平成20年11月	文化勲章
平成20年12月	ノーベル物理学賞

3 業績

氏は、昭和48年、素粒子の世界における粒子と反粒子の間の非対称性（CP対称性の破れ）を説明するため、当時3種類しか存在が確認されていなかった素粒子クォークが3世代6種類以上あることが必要だとする「小林・益川理論」を提唱された。この理論は、平成7年までに、新たな3種類のクォークの存在が確定することにより証明され、現在の素粒子物理学の基本となる「標準理論」として確立している。

平成20年には、宇宙や物質の成り立ちにかかわる根源的な現象を理論的に解明した功績が高く評価され、ノーベル物理学賞を受賞された。

また、京都産業大学理学部教授、京都大学名誉教授として、後進の育成に力を注がれるなど、本市はもとより我が国の学術文化の向上に多大の貢献をいただいている。

（総合企画局市長公室秘書課）